

実践『From Java to Ruby』

血があつい鉄道ならば/走りぬけてゆく汽車はいつかは心臓を通るだろう

諸君、私はRubyが好きだ 諸君、私はRubyが好きだ

諸君、私はRubyが大好きだ

オブジェクトが好きだ クラスが好きだ モジュールが好きだ メソッドが好きだ

イテレータが好きだ 制御構造が好きだ 例外処理が好きだ RDが好きだ 拡張ライブラリが好きだ

FreeBSDで Linuxで Cygwinで Solarisで Alphaで

シェルスクリプトで GUIで CGIで 科学計算で 分散オブジェクト環境で

この地上で行われる ありとあらゆる Ruby Scripting が大好きだ

ブロックと共に呼び出されたFile.openが

例外やコンテキストの終了と同時にファイルを自動クローズしてくれるのが好きだ

関数内で繰り返される定型的な処理が 新たなメソッド定義も必要なく

イテレータを使って綺麗にまとめ上げられた時など心がおどる

クラスやモジュールが 実行時でも変化させられるのが好きだ

module_eval で似たようなメソッドを大量生産した時など 胸がすくような気持ちだった

スクリプト感覚であっさり拡張ライブラリが書けるのが好きだ

拡張ライブラリを併用して 下手なCプログラムよりも高速に動作する様など感動すら覚える

dRubyでスクリプト同士がお話する様などはもうたまらない

Ruby on Rails であっさりとウェブアプリケーションが作れた時など絶頂すら覚える

ブロック引数のスコープの糞仕様にハマって Rubyが嫌われていく様はとても悲しいものだ

プロバイダがRubyをインストールしてないために tDiaryを設置できないのは屈辱の極みだ

諸君 私はオブジェクトを 地獄の様なオブジェクトを望んでいる

諸君 私に付き従うRubyist諸君 君達は一体、私に何を望んでいる？

更なる標準添付ライブラリを望むか？ 情け容赦のない 糞のようなRAAエンタリを望むか？

オブジェクト指向技術の限りを尽くし 三千世界のdRubyサーバを繋ぐ 嵐のようなピアツーピアを望むか？

ガガガガ ガガガガッ

Ruby!! Ruby!! Ruby!!

よろしい ならば Rubyだ

我々は満身の力をこめて 今まさに振り下ろさんとする 握り拳だ

だが この暗い闇の底で14年もの間 堪え続けて来た我々に ただのスクリプトではもはや足りない!

言語間戦争を!! 一心不乱の言語間戦争を!!

我らはわずかにバージョン1.9.0 日々svnにコミットされる開発版にすぎない

だが諸君は 一騎当千の古強者だと 私は信仰している

ならば我らは 諸君と私で 総数100万と1のcontribとなる

我々を忘却の彼方へと追いやり 眠りこけている連中を叩き起こそう

髪の毛をつかんで 引きずり降ろし 眼を開けさせ 思い出させよう

連中にオブジェクト指向の感動を 思い出させてやる

連中に我々の スクリプトの美しさを 思い出させてやる

マン・マシンインターフェイスのはざまには 奴らのパラダイムでは 思いもよらない事がある事を思い出させてやる

一千人のRubyistで 世界を*.rbで埋め尽くしてやる

最後の大隊 大隊指揮官より全Rubyistへ

第二次“From Java To Ruby”作戦 状況を開始せよ

征くぞ 諸君

角谷 信太郎 - (株)永和システムマネジメント / 日本Rubyの会

『少佐とRuby』改 (<http://rubyurl.com/UVZ>)